

「月刊ガバナンス」2016年7月号に掲載されました



静岡市では、「静岡市建設業担い手育成産官学特別会議-次の世代を担う高校生の不安を打ち明ける-」を実施し、建設業を志望する高校生が建設業界や市幹部職員が「生の声」を伝える機会を設けました。

この取組みが「月刊ガバナンス」2016年7月号に掲載されました。

掲載記事

若者の建設業離れ防止に向け 高校生が期待や不安を発表

静岡市（71万5800人）は5月18日、建設業担い手育成産官学特別会議「次の世代を担う高校生の不安を打ち明ける」を開催した。

建設業界で、高卒就業者の50%が3年以内に離職するという異常事態に着目し、その原因を探り、離職率を低減させるのがねらい。建設業を志す高校生が、業界に対する期待や不安を、建設業界と市の幹部職員に直接伝える場を設定し、7人の高校生が工夫を凝らした発表を行った。テーマは、**建設業の就業規則の改善**、**建築職の高卒求人がない現状**、**女子の活用について**など。

会議開催によって高校生たちは「生の声」を伝えた満足感と「業界

の変化」に期待感を持ってくれたようだという。また、業界側からは、「建設業が、どのように変化していかなくてはならないかを高校生たちと一緒に考えていきたい。その実現のために建設業に飛び込んでほしい」との力強い発言があった。

●静岡市技術政策課
☎054・221・1010

